

## 勝間地区生涯学習推進協議会委員対象講演会報告

少し遅くなりましたが、講演会の内容の要旨を報告をします。

- 【とき】平成9年9月22日(月) 19:30~21:30  
【場所】勝間ふれあいセンター  
【講師】瀧本 伸也 先生(元 光市生涯学習課指導員)  
【内容】

# “生涯学習”

### 1. 今なぜ生涯学習か？

世の中の変化は激しい。人の心も大きく変わっている。

- ①高齢化が進み、死ぬまで元気で安定して、充実した生活がしたいという願望。
- ②核家族化と少子化が進み、家庭生活等の様式が著しく変化。食事や育児も外注が多くなり、人々の考え方自体が変化している。社会問題も多い。
- ③産業のしくみの変化。第二次産業の製造業が労賃の安い外国に移る傾向にあり、情報産業やコンビニなどの第三次産業が盛んになっている。学校も五日制へと移行し、余暇の過ごし方が問題になってくる。

このような激しい時代の変化に対応するためには、幼年から老年に至るまで、絶えず、色々な学習が必要となってくる。ここに生涯学習の意義がある。

### 2. 生涯学習のこれまでの推移

地域によって異なるが、これまでは「あなたはもっと勉強しなければ」「これこれの講座や学級を用意した」「ぜひ学習しなさい」などと、行政主導の学習が主であったが、次第に民間主導へと変化し、自主運営と主体的内容をもった学習サークルが主流となりつつある。また、これまでに学んだ人がボランティアとして、社会へ奉仕しようとしている。

### 3. これからの生涯学習はどうあればよいか。

★ とにかく楽しく、おもしろいことが基本。遊びどころが大切。「学習」を『楽習』としてもよいのではないか。

わからないことがわかりだし、視野が広がり、自分と違った考え方などが再発見でき、成果を人に発表する楽しさもある。

★ 方法としては

- (1)五感を通して学ぶとよい(目でみる、鼻でかぐ、耳できき、肌で感じる、舌で味わう)
- (2)一人より学び友達がいると楽しさが増し、その地域に住みやすくなる。
- (3)家族からでも、地域からでも、本からでも、自分に合ったところで学ぶ。
- (4)身につけたものをまわりの人たちにも分けてあげる。

例：観光ボランティア(自分も勉強になり、仕掛人になれる)

人のやりたいことの講師となる(一つのことを徹底してやっておくとよい)

福祉ボランティア

- (5)小規模グループ(7~8人くらいまで)が案外よい。

例：史跡めぐりや山野散策など、学習とともに健康づくりにもよい。同時に旅行なども取り入れて、生活を楽しく、豊かにできる。

※ 必要課題について

社会人として、ぜひ学び、身につけてほしいもの。

例：家庭教育、同和教育、青少年教育、環境教育 等々

主として行政主導で講演会などを行っているが、ぜひ積極的に参加したいものです。

皆様、何か共通の話題をもって、サークルをつくり勝間ふれあいセンターを主会場にして、楽しみながら活動されてはいかがでしょうか！